

## 平成 27 年度 第 8 回南伊豆町学校統合審議会議事録

- 1 開催日時：平成 28 年 2 月 1 日（月） 19：00～20：00
- 2 開催場所：役場 3 階 議場
- 3 出席者：出席委員 14 名 欠席委員 4 名 事務局 2 名
- 4 議 事：答申書の内容について
- 5 資 料

---

会長挨拶      こんばんは。この審議会は今日で最後になるかと思えます。前回答申書の内容について十分審議したと思えます。それに基づいて今回の答申書が作成されていますので、今日で終わりになるかと思えます。この内容を見ながら審議していきたいと思えます。

事務局      皆さんには資料を事前配布させていただきました。第 1 回目の案です。表紙には皆さんの名前を連記させていただきました。

1 ページ目は「はじめに」という事で学校統合審議会に諮問されたことと、諮問理由、そして 8 回の審議会が開催されたという事、また会長からのメッセージとなっています。

2 ページ目は結論です。3 ページ目からですが、南上小の統合についての提言と諮問されてからの経過となっています。3 番で南上小の基本的な考え方は子どもにとって何が良いのかがベースになっている、としました。4 番で現状に入ります。若干の増減はあるものの今の人数は維持していること、今後においても南上地域には移住される方が多いという事と、町の移住政策の拠点地域であることから人口が増える見込みのある地域であるという事を入れました。現状という事なので、複式学級の学力についても触れました。どうしても文科省の手引きについて書かなくてはならないという事、複式学級が 2, 3 年生である事、しかし町の臨時的任用職員を派遣して主要教科は分けているという現状を書きました。(3) は地域との連携です。(4) は統合に対する保護者等の意識という事で皆さんにご協力いただきましたアンケート結果について書きました。(5) 現状のま

とめにつきましては、小規模校にありがちな顕著なデメリットは見られないという記載にしました。

6 ページ目は南上小の課題です。教育的効果の維持という事で、複式学級があるという事から、教員の数が十分でないという事。次に統合についての考え、統合の時期について書きました。

7 番目として、統合審議会からの提案として、南上小への期待と南伊豆町の小中学校全体について町として考えていって欲しいという事を書きました。

会 長 答申の骨組みについてはどうでしょうか。  
ないようなので、次に書かれている内容についてどうでしょうか。

委 員 6 ページ目の「将来的な提言について」の中で「コミュニティスクール」とあるが、聞きなれない言葉なので外した方がいいと思う。コミュニティスクールが立ち上がらないと地域が活性化しないという風にも読み取られる。

事務局 一般に広く知られていない言葉だから外した方がいいということですか。

委 員 上段に「地域との連携が密であることから～」と同じような内容があるので必要ないのでは。新しい取り組みで、やっている所は少ないですよ。

事務局 これから増えていくと思いますが。

委 員 ひとつの方向性を示す言葉だと思います。必ずしもコミュニティスクールを立ち上げなければいけないという事ではないので、載せてもいいと思いますが。

委 員 最後の「期待する」という文言はコミュニティスクールを立ち上げなければならないととらえられる可能性もあるので、「検討する」くらいにした方がいいのでは。

事務局 コミュニティスクールは学校にとって「悪」の組織ではないで

す。

委員 前の答申書と違って前向きに考えている部分もあるということで「南上小に期待してもらっている」ということであれば、入れてもいいのでは。

委員 コミュニティスクールという組織ができれば地域が活性化するという意味に取られるのでは。新しい組織ではなく、今ある物を、思いを新たにしたり、深めていくことが重要なのではないのでしょうか。

委員 ここにある「地域」とは南上地域の事ですか、それとも南伊豆町全体の事ですか。

事務局 南上地域の事です。

委員 それならコミュニティスクールは外してもいいと思います。他の文章の中で、南上地区をより良くしていこうという内容があるので。

会長 コミュニティスクールは現状あるものを一步踏み込んで前進させたものだと考えます。その例としてコミュニティスクールという言葉を入れたのだと思います。

委員 「組織が立ち上がり」ではなく、「のような活動をしながら」という風に変えたらどうですか。

委員 コミュニティスクールという言葉は手引きにも出ていて、これから地域に必要なようになってくると思います。注釈が入ればコミュニティスクールという言葉を入れてもいいのではないですか。

委員 「コミュニティスクールの活動を取り入れるなど」に変更してはどうですか。

会長 言葉の流れもスムーズなので、いいのではないですか。では、この部分はこれでいいですね。他にありますか。

委 員 6 ページ目の将来的な提言の (1) 南上小への期待の中で、「教育効果の～不透明である」は上の「教育的効果の維持」の中で同じようにあるので、削っても良いのではないのでしょうか。

会 長 ではその部分を削るということですね。みなさんどうでしょうか。

委 員 同じ内容になるので、削ってもいいと思います。

事務局 確認します。6 ページ目の将来的な提言 (1) 南上小への期待の中で、「教育効果の～不透明である」は削るという事でいいですね。

会 長 他にありますか。  
それではこの内容で答申を出したいと思います。

事務局 今後のスケジュールの確認です。第8回をもってこの統合審議会は終了となります。  
2月19日に町の定例の教育委員会があります。その中で木下会長から教育委員長に答申をします。  
2月22日に教育委員長から町長へ答申します。同日に定例記者会見が開かれますので、答申の内容をマスコミに公表します。その答申を受けて町長が統合についての判断をします。

会 長 では、以上をもちまして統合審議会を終了します。2年間どうもありがとうございました。